

緊急通報システムのしくみ

現在ご利用中の電話機にそのまま接続することができます。

「非常」ボタンを1回押すだけで、緊急通報を発信し、緊急通報先に順次通報します。本体に接続されている電話機が利用中でも「非常」ボタンを押せば緊急通報を最優先に行います。

「ペンダント型ワイヤレス通報装置」は、本体から約50m以内であれば、非常ボタンをワンタッチするだけで簡単発信します。



利用者が
非常ボタンを押す

《メッセージ》

「こちらは(電話番号)です。
緊急通報、緊急通報。

《録音メッセージ》

(氏名)です。緊急事態が起きました。
すぐに駆けつけてください。
(住所)(氏名)(電話番号)。」

※上記()内の住所、電話番号、氏名は、
利用者の情報です。



第1通報先(協力者)宅へ
呼び出し音が鳴った後、自動的に
メッセージが3回流れます。
その後、自動的に第2通報先へ

- ①緊急メッセージを聞いたら、協力者は
直ちに駆けつけ、安否を確認する。
- ②必要に応じて、下記の関係機関に連絡する。
- ③その場合の連絡は、必ず利用者の自宅の
電話を使用し、利用者の様子を見ながら
連絡する。

第2通報先(協力者)宅へ
呼び出し音が鳴った後、自動的に
メッセージが3回流れます。
その後、自動的に第3通報先へ

- ①緊急メッセージを聞いたら、協力者は
直ちに駆けつけ、安否を確認する。
- ②必要に応じて、下記の関係機関に連絡する。
- ③その場合の連絡は、必ず利用者の自宅の
電話を使用し、利用者の様子を見ながら
連絡する。

第3通報先
中東遠消防指令センター
自動的に、メッセージが3回流れます。

利用者宅に一番近い消防署が出動する。
ただし、出動前に、安否が確認された場合には、
出動不要と判断されることもある。
対応後、関係機関及び親族等必要に応じて報告
する。

中東遠消防指令センターから
各消防署へ出動要請

緊急時連絡関係機関

袋井消防署森分署 85-0119 袋井警察署森分庁舎 85-0110

緊急通報装置使い方

もし、間違えて押してしまった時は、すぐ「ストップ」ボタンを押してください。



急病やケガ等の緊急時にこの「非常」ボタンを押してください。自動で第一、第二通報先(協力者)、第三通報先に発信されます。

シルバーホンあんしんSVI

急病やケガ等の緊急時にこの「非常」ボタンを押してください。自動で第一、第二通報先(協力者)、第三通報先に発信されます。



省電力型ワイヤレスリモートスイッチ5 (送信機)